



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：三瓶 和秀 幹事：鈴木 弘康 発行：会報・広報委員会

第 3043 例会 (26号) 2017 年 2 月 2 日 (木) 晴

国際奉仕委員会担当卓話 SPEECH

いわきの医療の現状



国際奉仕委員会

副委員長 松村 耕三 会員

いわき市の医療に関して以前、話をした時から3年ほどたちました。今回は、その後、どう変わってきたのか話をさせていただきます。人口

10万人当たりの診療所の医師数は、いわき市は2014年度(83.7)まで県内(70.0)や全国(80.2)の数値を上回っていました。ただ、2015年度から最近まで廃業された医師が数多くいます。

また、人口10万人当たりの病院勤務医師数は2014年度でいわき市が88.3、福島県が118.8、全国が153.4で全国のほぼ半数です。それだけ、いわきは勤務医が少ないということです。医師の年齢構成を見ると、いわき市は20代、30代が14%しかいない。県平均は22%です。一番早く25歳くらいで医師になれるので通常であれば、この年代は20%を超えるのですが、いわきでは若い医師が少ない。高齢化が進んでいると言えます。

注目すべきは勤務医が2006年度は91.8、その後、2012年度の81.5まで減少傾向でした。2006年度ごろに何が合ったかという、少し前に臨床研修制度が始まったのです。それまで大学を卒業して医師になると、しばらくは大学病院に勤務して10年くらい教授から叱られながら修行し一人前になったものです。ところが臨床研修制度が始まり、民間病院でも研修のプログラムがある所で受け入れられるようになった。このため地方の大学病院でなくても、生活に便利な都会の民間病院で研修を望むようになったのです。地方の大学に若い医師がいなくなったことで、大学側も医師派遣などの要請を受けても容易に出せなくなりました。

大学が自前の医師を囲い込むようになった要因の一つは、人件費が安く済むこともあります。私が助手を務めていたころは手取りが月15万円くらいでした。その分、アルバイトの仕事は多く紹介してもらえました

が、大学は自ら払う報酬を抑えることで経営を楽にするのです。

こうした状況下で、いわきは県立福島医大からの派遣が郡山や会津若松に比べ少ないのです。なぜでしょう。いわきはお金がないのです。郡山や会津若松の病院は、大学に寄付講座として研究費を寄付して医師の派遣を受けることを数多くしています。たいてい3人くらいが派遣され、日常の診療を行いながら研究を進め、論文を発表しています。寄付の額は年間5千万円くらいです。いわきの病院は財政的に厳しい所が多く、そこまで出せる余裕はありません。

次に「2025年問題」というのがあります。昭和22年、23年生まれの人が75歳になる、いわゆる団塊の世代が後期高齢者の枠に入る年度なのです。後期高齢者が増えることで国民医療費の総額も増えていきます。2014年度で国民医療費40.8兆円に対し後期高齢者医療費は13.4兆円、2015年度以降は後期高齢者医療費が毎年1兆円ずつ増える算定です。2025年度になれば後期高齢者を支えることができるのか非常に憂慮されています。

そこで国の政策として地域包括ケアを進める方針が取られています。地域包括ケアとは平たく言えば病気になっても、病院に入院させるな、施設に入所させるな、在宅で看取れということ。急性期の治療が終わればハビリの病院・施設へ行き、それが終われば自宅へ戻るという役割分担をしっかりとさせ、医療費の増加を抑えようというのです。県は地域医療構想を策定しています。県北や会津、いわきなどの方部ごとに、各病院の役割を決めてベッド数なども割り振るなどの計画です。地域の医療機関が自主的に決めではなく法律で統制されるような状況なのです。

いわき市内の公立、民間の27病院で、いわき市病院協議会を結成しています。私が理事長を務めています。結成時は30病院だったのですが、3つの病院がなくなりました。病院は3人の医師がいることが条件です。医師の都合がつかず閉院したケースもあり、今後も常勤医の高齢化が進めば、辞める会員が考えられます。

いわき市の清水敏男市長は公約に「医・職・住」の充実を掲げています。これまで医の分野が遅れていると感じていました。最近になって、いわき市地域医療を守り育てる条例を全国に先駆けて制定し、意欲的に取り組む姿勢を見せました。また、市病院医師就学資金



2016~2017年度
国際ロータリーのテーマ

「人類に奉仕するロータリー」

Rotary Serving Humanity

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

貸与事業費補助金を創設しました。医学部生に奨学金を出すのですが、市職員となる磐城共立病院勤務を条件に全額を補助するだけでなく、市内の民間病院に就職する場合も半額を補助することになりました。さらに、大学医学部への寄付講座は磐城共立病院だけでなく、民間病院で寄付講座を設ける確約が取れば市が補助をする制度も検討されています。市内の勤務医不足の解消に少しずつ明るい兆しが見えているようです。

司会：鈴木弘康幹事

〔点鐘・国歌斉唱・ロータリーソング（奉仕の理想）・ロータリーの目的（新田俊彦会員）・四つのテスト（高橋康二会員）〕

★ 誕生日



郡 二三子さん
(2月3日)

ハッピーバースデーソング斉唱

新田俊彦会員



高橋康二会員



◆会長挨拶ならびに報告



初めに、先日、お亡くなりになられた佐々木芳弘会員のご遺族から当クラブへ多額の寄付をいただきました。謹んでご報告いたします。

近ごろは温度差の激しい日が続いていますが、皆さんには、ご家族を含めて十分お体に気をつけていただきたいと思います。

さて本日2月2日は「国際航空業務再開の日」です。1954年2月2日、戦後、GHQにより禁止されていた国際航空業務が再開されたことに由来します。1番機は日本航空の東京発ホノルル経由サンフランシスコ行きで、14人は招待客で、一般の乗客は5人だけでした。ちなみに当時の東京からサンフランシスコ間の通常航空運賃は23万4000円でした。この当時の初任給が6,000円ということですので現在の価値に直すと500万円程度ということになります。これは片道運賃ですので往復1,000万円ということになります。

ここからは、私が新人のころ卓話で話した事にかぶりますが、その当時、海外に渡航した人は、新聞に個人で「海外に行きました」という連絡先を入れた広告を載せていました。そうすると講演依頼が殺到し、旅費ぐらいの元は簡単に取れたそうです。隔世の感があります。

ちなみに私が扱った旅行で最高金額は、ご夫婦で900万円というのがありました。早割で100万円引かれましたので正規の金額は、ちょうど1,000万円です。内容は豪華客船で回る世界一周クルーズですが、それでも下から2番目のランクでした。

◆幹事報告

- いわき平東RCの50周年記念式典・祝賀会の出欠を確認いたします。当クラブから20人は出席したいと思っておりますので、よろしく申し上げます。
- いわき桜RC、いわき平東RC、いわき平中央RCより2月のプログラム予定表、いわき平中央RCより会報が届きました。
- いわき国際交流協会よりワールドアイ、イワキビジョンが届きました。
- 劇団わらび座いわき公演（2月27日）の案内が届いています。
- 小林研一郎氏記念コンサート（3月18日）の実行委員会から協賛とチケット購入の案内が届いています。

委員会報告

◆出席委員会（池田直彦副委員長）

例会日	基本会員数	出席者	メーキャップ数
2月2日	52名	25名	—

◆ロータリー財団委員会（鈴木東雄委員長）

三瓶和秀さん、大久保健蔵さん、飯野光世さん。

以上3件

◆米山記念奨学会委員会（代理・鈴木東雄会員）

三瓶和秀さん、大久保健蔵さん、飯野光世さん、山崎洋次さん、鈴木弘康さん、清水和政さん。 以上6件

◆スマイルボックス委員会（曲山浩範副委員長）

- ♥三瓶和秀さん（松村さん卓話よろしく申し上げます）
 - ♥曲山浩範さん（松村先生卓話宜しくお祝い致します）
 - ♥青木喜久男さん（松村先生卓話よろしくお祝いいたします）
 - ♥飯野光世さん（明日は節分、春が待ちどおしいです。松村先生卓話楽しみにしています）
 - ♥高橋康二さん（松村さん卓話よろしく申し上げます）
 - ♥郡二三子さん（誕生日のお祝有難うございます。2月5日、高校の人達と古希の祝をします）
 - ♥鈴木東雄さん（松村さん卓話よろしく）
 - ♥八幡恭朗さん（松村先生卓話よろしくお祝いいたします）
 - ♥大久保健蔵さん（松村先生卓話よろしくお祝いいたします）
 - ♥山崎洋次さん（松村さん卓話よろしくお祝いいたします）
 - ♥鈴木弘康さん（松村さん卓話宜しくおねがいたします）
 - ♥伊藤盛敏さん（松村先生卓話ご苦勞様でした）
 - ♥関口武司さん（松村さん、卓話宜しくお祝いいたします）
 - ♥勝田博志さん（松村先生、卓話楽しみです）
 - ♥浅倉哲也さん（松村国際奉仕副委員長の卓話を楽しみにしています）
 - ♥清水和政さん（松村先生の講話を楽しみにしております）
- 以上16件

★本日の例会案内 2月9日（木）12：30～

新入会員卓話 池田直彦会員(いわきワシントンホテル椿山荘総支配人)
食事メニュー＝焼き魚2種、お刺身3種

★次回の例会案内 2月16日（木）12：30～

外部卓話 黒川明彦様(タイヘイドライバースクール管理者)
食事メニュー＝海鮮ちらし寿し、そば(温)